令和4年度 学校だより 2月号

がご窓宮

令和5年2月1日 文京区立駕籠町小学校 校長 矢部 明美

「振り返り」をする

副校長 池田 直亮

子どもたちは、学習活動を始める際に、「めあて」をたてます。授業にはその時間中に、そして単元中に達成させたい「ねらい」があります。そのねらいに沿って、どんなことができるようになりたいか、何を身に付けたいか、どうなっていたいのか、というめあてを考えます。

子どもたちの学習活動は、めあてに向かって進んでいきます。どうしたらいいかな、という試行錯誤も、明確なめあてをたてられることで効果的なものになっていきます。

めあてをたてるための大切な要素の一つが、「自分の活動を振り返り、何が必要であるのか知ること」です。そのため駕籠町小では、学習の振り返りも大切にしています。マークをつけて可視化したり、言語化したりして、次のめあてをたてる際の資料になるようにしています。できなかったことだけでなく、できるようになったこと、満足いったことを知ることも大切な振り返りです。

さて、私たち駕籠町小の教職員も、振り返りをします。今日の教育活動はどうだったのか。1ヶ月では?1学期間では?1年間では?それを考える資料になっているのが、保護者の皆様や地域の皆様からいただいた貴重なご意見です。

「学校生活についてのアンケート」にご協力ありがとうございました。教育活動に概ねご満足いただき、ご理解いただいていること、反面、教育活動についてよく伝わってこないことがあることなどが分かってまいりました。詳細については後日報告をさせていただきます。

今年度の教育活動を丁寧に振り返り、来年度もよりよい教育活動ができるようめあてをたて、取り組んでまいります。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2月の行事予定			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水	4時間授業 区内めぐり① (3年)	15	水	かごめ班遊び 避難訓練
2	木	安全指導 読み聞かせ (2年)	16	木	4時間授業(1年) 読み聞かせ(4年)
3	金	区内めぐり②(3年) 吹奏楽特別授業(5年)	17	金	クラブ
4	土		18	土	
5	日		19	日	
6	月	全校朝会	20	月	全校朝会 社会科見学 (6年)
7	火	社会科見学(5年)	21	火	6年生を送る会
8	水	区内めぐり③ (3-3)	22	水	
9	木	新1年生入学説明会 4時間授業 (1年) 読み聞かせ (3年) 区内めぐり③ (3-1.3-2)	23	木	天皇誕生日
10	金	セーフティ教室 (5・6年)	24	金	クラブ(クラブ見学) 5時間授業
11	土	建国記念の日	25	土	
12	日		26	日	
13	月	全校朝会	27	月	全校朝会 B時程 保護者会 4時間授業 (1~3年) 5時間授業 (4~6年)
14	火	クリーン大作戦 (1・6年) ロボットプログラミング学習 (6年)	28	火	ロボットプログラミング学習 (6年)

3年生:いのちと心の授業

生活指導担当

12月に「いのちと心の授業」が行われました。今年度は日本ユニセフ協会から金子 雅彦 様をお招きし、「世界の子どもの状況とユニセフの活動」についてお話をうかがいました。

お話の中で、世界中に恵まれない環境で生活している子どもたちがたくさんいること、子どもが水を運ぶことが一家の大切な仕事となっているために、学校に通うことができない状況があること等を知りました。 代表児童が、実際に蚊帳の中に入ったり、水がめを運んだりすることを体験し、病気を媒介する蚊に刺されないために自分を守ることの大切さや水くみの大変さを感じました。

今回のお話で、子どもたちはユニセフが何のために、どのような活動をしているのかを知ることができました。また、自分たちの当たり前を今一度考え直し、様々なことに感謝の気持ちをもつことや、今自分でできることに精一杯取り組むことの大切さを学ぶことができた授業でした。







「描こう 作り出そう 色と形に思いをのせて」

作品展担当

1月20日(金)・21日(土)に作品展が行われました。「描こう 作り出そう 色と形に思いをのせて」をテーマに、これまでの図工の授業で学んだことを生かし、作品に表しました。会場には、子供たちの個性あふれる作品が多く展示され、一人一人の思いが色や形となり表現されていました。

1日目の児童鑑賞では、学年ごとに鑑賞し、友達や他学年の作品の面白さやよさを感じていました。 2 日目の午後の保護者鑑賞では、子どもたちが家族に自分の作品を誇らしげに紹介する姿が見られました。 多くの保護者の方々に作品展を鑑賞いただき、ありがとうございました。











